

情勢報告（令和2年4月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

培養キットで簡単に！ ～オリジナルユリ品種等の球根増殖に関する研修会～



キット利用の実演

3月26日、当普及所にて、培養キットを利用した球根増殖の研修会を開催し、生産者3人と関係機関9人が参加しました。

オリジナルユリを大量増殖するためには効率的な球根生産が課題となっています。普及所は、クリーンベンチなどの特別な設備がなくても培養できるキットが「ヴィトロプランツ」から販売されている情報を得たことから、関係機関に働きかけて研修会を開催しました。

キットによる大量増殖は困難ですが、植物体の消毒と専用の培地を利用することで、簡単に増殖できることが解りました。

普及所は、今後もオリジナルユリの生産拡大に向けて効率的な球根養成方法や体制づくりを支援します。

世界に嶺北産のユズを！ ～輸出検討会を開催～



検討会の様子

3月27日、普及所にて嶺北地域ユズ輸出検討会が開催され、生産者3人と関係機関10人が参加しました。

会では、本年度の実績と課題整理を行うとともに、次年度の輸出計画について協議しました。

普及所からは、青果ユズの腐敗対策、EU向けの防除暦について説明しました。

輸出用園地の生産者からは「腐敗事故を無くすために、早期収穫、浸漬消毒処理後の果皮の乾燥を徹底したい」、「輸出量増加を目指して栽培に取り組む」といった前向きな意見が聞かれました。

今後、普及所は青果輸出量3tを目指して、栽培管理指導や輸出計画の実行を支援します。

農地を守るための連携を！ ～「土佐天空の郷保全会」第一回総会～



各集落の代表委員による検討

3月27日、本山町役場にて、土佐天空の郷保全会第一回総会が開催され10集落から10人が参加しました。

「土佐天空の郷保全会」は本山町の20集落中11集落が加入し、5組織も加入を検討しています。

事務局の本山町農業公社が規約について説明し、参加者からの「大きく補修したい場合の手続きは？」「家族も構成員となるか？」など保全活動に関する疑問を解決し、町域での多面的機能支払組織が発足することになりました。

普及所は、今後も「土佐天空の郷保全会」の活動を通して農地を守る仕組みづくりを支援します。

篤農家の技術を部会員に！ ～ゆず部会で接ぎ木講習会を開催～



真剣に接ぎ木手法を学ぶ
部会員

4月7日、土佐町でJA高知県れいほく園芸部ゆず部会接ぎ木講習会が開催され、生産者、JA、普及所の計9人が参加しました。

篤農家による接ぎ木の実演後、参加者全員で実習しました。

普及所からは、接ぎ木のポイントを説明するとともに、今後の病虫害防除等を指導しました。

参加者からは「作業手順は簡便で理解できた。自分の園地でも試したい」という声が聞かれました。

今後も普及所は、接ぎ木苗の管理指導など、栽培技術向上を目指して、関係機関と協力して講習会等を実施します。

青ネギ栽培の疑問点を解決！ ～(株)大豊ゆとりファーム青ネギ栽培研修会～



永森代表理事に質問する大豊ゆとりファーム社員

4月2日、(株)大豊ゆとりファームの青ネギほ場において、指導農業士で土佐園芸生産組合の永森文英代表理事を講師に招いて研修会を開催し、社員3名が春～夏の青ネギ栽培技術を学びました。

大豊ゆとりファームでは、令和元年から新たな露地栽培品目として青ネギ栽培に取り組んでいますが、限られた労力で効率的な生産ができる栽培技術の向上が課題になっています。

今回の研修会では永森代表理事から収穫や追肥のタイミング等、生育状況にあわせた指導を受け、青ネギ栽培の問題点の解決につながりました。

普及所は、今後も大豊ゆとりファームの経営発展に向け支援します。